

第9回 関西テコンド - 選手権大会 兼 第2回 J T A組手 & 蹴武型団体対抗戦

【 1 】 名称

第9回関西テコンド - 選手権大会 兼 第2回 J T A 団体対抗戦
- 第22回全日本フルコンタクト・テコンド - 選手権大会 出場選手選考会 -

【 2 】 主催

滋賀県テコンド - 連盟 会長 河 明生

問い合わせ等 実行委員長 妹尾将吾 (0 9 0 - 9 8 4 6 - 8 2 4 1)

【 3 】 後援

日本テコンド - 協会 (J T A)

【 4 】 目的

ルールを尊ぶ J T A の試合を通じて健全な精神涵養及び体力増進に貢献する。

J T A テコンド - 愛好家の親睦を目的とする。

信義と礼儀を重んじる日本テコンド - を通じた社会教育の意義を高める。

第22回全日本フルコンタクト・テコンド - 選手権大会出場選手選考

イ、一部組手各階級優勝者で蹴美に秀でている選手には全日本大会出場権を与える。
ただし、各種空手やキックボクシングのような組手スタイルの選手が優勝した場合、審議の末、上記の全日本大会出場権を与えない場合があり得る。

ロ、一部蹴武の型優勝者には全日本大会出場権を与える。
ただし、昇段していない場合は出場できない。

ハ、関東圏選手は、重要な組手総見 (1 0 月・1 1 月実施) への参加を義務付ける。
不参加の場合、出場権を取り消す場合がある。

ニ、社会人の選抜出場・推薦出場選手を決定する最終予選会とする。

第22回全日本フルコンタクト・テコンド - 選手権大会・団体戦型出場チーム選考

本全日本大会大会より一部団体戦・蹴武型を実施する。

イ、1位～3位入賞チームにはシード権を与える。

ロ、参加チームの中から推薦チームを選抜する。

組手および型の団体戦の試合出場及び応援、練習過程を通じて
J T A 加盟クラブのメンバーの団結と連帯を強化する。

組手および型の団体戦の試合を通じて

J T A 組手団体日本一及び J T A 型日本一の団体を決定することで
J T A クラブ間の良好かつ建設的なライバル意識を涵養する。

【 5 】 開催日

2 0 1 1 年 8 月 7 日 (日) 1 3 : 1 5 試合開始

実行委員集合 1 2 : 0 0 選手受付・計量 1 2 : 3 0

【 6 】 開催場所

彦根市民体育センター（メインアリーナ）

滋賀県彦根市松原町大黒前3751番7（滋賀県立彦根総合運動場内、彦根城近隣）
TEL（0749）23-2293

JR琵琶湖線「彦根駅」徒歩15分、JR東海道新幹線「米原駅」タクシー15分弱
名神高速「彦根IC」より4km、「米原IC」より8km。 無料駐車場有り。

【 7 】 参加資格

一、 個人戦（組手、型）

JTA年会費を納めているJTAの有級者（黄帯・7級以上）および有段者。
年会費未納者が参加し入賞した後、発覚した場合、これを取り消し、繰り上げ入賞とする。

健康であり、かつスポーツ安全保険に加入している者。

一部組手および型は、茶帯（含1級審査受験・結果待者）～有段者。制限無し。
ただし、JTA黒帯道衣を着用しなければならない。貸与等は不可。
なお、一部女子部は活性化をはかるため二部組手で優勝経験をする3級以上の者は出場できる。

一部蹴武型は、茶帯（含1級審査受験・結果待者）～有段者。制限無し。
ただし、JTA黒帯道衣を着用しなければならない。

二部組手は、茶帯～有段者。または過去の各種大会で入賞経験を有する4級以上の有級者。

二部蹴武型は、有級者。制限なし。

三部組手は、黄帯～茶帯。制限なし。

少年少女部四部組手および型試合は、黄帯～黒帯。制限なし。

二、 団体戦（組手、型）

1、 団体戦共通

JTA年会費を納めているJTAの有級者（黄帯・7級以上）および有段者。
年会費未納者が参加し入賞した後、発覚した場合、これを取り消し、繰り上げ入賞とする。

健康であり、かつスポーツ安全保険に加入している者。

団体戦は、「**道場」という団体名での参加は許可しない。

サッカーのJリーグ同様、企業名ではなく、郷土愛に根ざした地域密着の地元名を冠すること。
ただし、東京および神奈川以外のクラブは、都道府県連盟で参加できる。
例えば、愛知テコンドー連盟、岡山テコンドー連盟、高知テコンドー連盟、兵庫テコンドー連盟
九州テコンドー連盟等。
なお、型は都道府県連盟名で参加し、組手は各クラブ名での参加も認める。逆も同じ。

参加クラブは、団体戦メンバー表を事前に提出しなければならない。

エントリーした選手が病気等やむを得ない事情で欠場した場合に限り、当日変更を許可する。

団体戦のみの参加であっても、自己責任の原則は同じなので、個人種目出場選手同様、大会参加申請書を提出しなければならない。

2 , 組手団体戦

有段者が2名以上のチームはすべて一部とする。

有段者が1名以内のチームはすべて二部とする。

団体戦は、1チーム・3名とする。

一つのクラブで複数チームの参加を認める。例えば、横浜市大Aチーム、横浜市大Bチーム等。

組手団体戦は無差別級で実施する。組手団体戦メンバー表には体重を正確に記さなければならない。

参加団体は、ヘッドギアを用意し着用しなければならない。

3 , 蹴武型団体戦

有段者が2名以上のチームはすべて一部とする。

有段者が1名以内のチームはすべて二部とする。

型団体戦メンバー表には演武する型を事前に通知しなければならない。

予選の型、決勝戦の型を準備しなければならない。

団体戦は、1チーム3名とする。

一つのクラブで複数チームの参加を認める。例えば、横浜市大Aチーム、横浜市大Bチーム等。

型団体戦は全チームで順に予選を行う。

型団体戦は、男女混合、少年少女部混合も可とする。すなわち年齢性別制限なし。

【 8 】 試合種目・表彰

一、 組手試合 事故防止のため全試合顔面ガード付き防具を着用する

1 一部フルコンタクト・テコンドー組手

最優秀選手賞1名 ~ トロフィーと賞状

軽量級(63kg未満) ~ 優勝、準優勝、3位：メダルと賞状

中量級(70kg未満) ~ 同上

重量級(70kg以上) ~ 同上

女性無差別級 ~ 同上

2 二部JTAライトコンタクトテコンドー組手

軽量級(63kg未満) ~ 優勝、準優勝、3位：メダルと賞状

中量級(70kg未満) ~ 同上

重量級(70kg以上) ~ 同上

女性無差別級(胴防具着用) ~ 同上

3 三部 J T A ライトコンタクトテコンドー組手

- 軽量級(63kg未満) ~ 優勝、準優勝、3位：メダルと賞状
- 中量級(70kg未満級) ~ 同上
- 重量級(70kg以上) ~ 同上
- 女性無差別級(胴防具着用) ~ 同上

4 四部 J T A 少年部特別ルール組手

少年少女部はテコンドー蹴士らしい組手スタイルを望みます。
J T A が最も力を入れている後横蹴りや飛び後横蹴り、横蹴り、かかと落とし蹴等の限定された蹴り技で競わなければなりません。
フルコンタクト空手やキックボクシング等が得意な回し蹴りは、蹴美とは言えません。
万一の事故を防止するため回し蹴り(後回し蹴りや飛び回し蹴り蹴りも含む)は禁止します。
ワンマッチでも実施しますが、参加選手4名以下の場合は、優勝者のみ表彰します。

- 少年少女部軽量級(30kg未満) ~ 優勝、準優勝：メダルと賞状
- 少年少女部中量級(30~35kg未満) ~ 同上
- 少年少女部無差別級(35kg以上) ~ 同上
- 中学生男子軽量級(50kg未満) ~ 同上
- 中学生男子無差別級(50kg以上) ~ 同上

* 統合する場合があります。

その場合、1回戦は最も体重の近い選手同士で対戦するよう配慮します。
女子中学生は一般の試合にエントリーして下さい。有段者でも二部または三部に参加できます。

二、蹴武型試合(全種目男女混合)

- 1、一部蹴武の型試合(中学生以上の有段者・茶帯)
優勝、準優勝、3位：メダルと賞状
- 2、二部蹴武の型試合(有級者。中学生参加可)
優勝、準優勝、3位：メダルと賞状
- 3、三部少年少女部(有級者・有段者)
 - 小学生低学年(3年生以下。未就学者可) ~ 優勝、準優勝、3位：メダルと賞状
 - 小学生高学年(4年生~6年生) ~ 優勝、準優勝、3位：メダルと賞状
 - 中学生 ~ 優勝、準優勝、3位：メダルと賞状

* 組手および型試合はいずれもエントリー - 選手が

6名以下の場合、最も近い級と統合する。

7名以下の場合、3位は記録としては残すが表彰しない場合がある。

32名以上の場合、3位決定戦は行わない。3位は2名とする。

三、組手団体戦

- 1、一部組手団体戦 優勝、準優勝、3位：楯と賞状
- 2、二部組手団体戦 優勝、準優勝、3位：楯と賞状

四、蹴武型団体戦

- 1、一部型団体戦 優勝、準優勝、3位：楯と賞状
- 2、二部型団体戦 優勝、準優勝、3位：楯と賞状

【9】試合ルール等

一、組手試合ルール

1、試合ルール

- 1部 JTAフルコンタクトテコンドー・ルール（蹴美7WILLルール）
- 2部、3部 JTAライトコンタクトテコンドー・ルール

少年少女部特別ルール

JTAライトコンタクトテコンドー・ルール。

ただし、万一の事故（失明等）を防止のため、ヘッドギアと胸防具の着用を義務づけ
回し蹴り（後回し蹴りや飛び回し蹴り蹴りも含む）を禁止します。

2、試合時間、判定基準等

1部本戦2分1R。

延長戦2分（2R迄）。再延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

2部・3部本戦2分1R。

延長戦2分（1R迄）。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

4部少年少女部・中学生部 本戦1分1R。

延長戦1分（1R迄）。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

敵点2、又は注意6で「失格」とする。

実力差が著しい場合又は戦意喪失が認められる場合、主審権限により「棄権」を宣告する。

すべての試合は、判定の際、蹴美力の優劣を重視する。

3、その他

本大会は、全日本大フルコンタクトテコンドー選手権大会予選会のため、同大会のルールに準ずる。
ただし、予選会における蹴美審判は1名とする。

二、蹴武の型・試合ルール

選手は、蹴武の型を自由に選択し、試合を行う。

トーナメント勝ち残り方式とする。

男女混合、有段者・有級者混合とする。

3名の審判が、旗（青もしくは赤）を上げて勝者を決定する。旗が多く上がった方を勝者とする。

各審判は、引き分けを宣告できる。その場合、延長戦（1回のみ）を行う。

延長戦の場合、審判はいずれかを勝者と認定しなければならない。

選手は、延長戦の場合、蹴武の型を変更できる（同じ型でも可）。

延長戦での変更した型は、成功すれば、判定上、有利になる場合がある。

たとえば、A選手が型を変更し、B選手が同じ型で延長試合を戦ったと仮定する。

いずれも成功し、甲乙つけがたい場合、A選手が2つの型を修得したという事実は、それだけB選手よりも練習をしている（＝努力している）とみなせる。

また、延長戦での複数の型の実演は、失敗するリスクも高いので、それを克服して成功させたという精神性も評価できる。よって、この場合、審判は、A選手を勝者と判定する場合がある。

三、組手団体戦試合ルール

1、試合ルール

1部、2部いずれもJTAライト・フルコンタクトテコンドー・ルールとする。

無差別級とする。

引分け有りとする。

エントリー選手の全試合を終えた結果、引き分けた場合、代表戦を1試合のみ行う。

実力差が著しい場合又は戦意喪失が認められる場合、主審権限により「棄権」を宣告する。

すべての試合は、判定の際、蹴美力の優劣を重視する。

敵点2、又は注意6で「失格負け」とする。

それ例外は、JTAライト・フルコンタクトテコンドー・ルールに準じる。

なお、ルール上、想定していないことが生じた場合、大会会長が裁定する。

2、試合時間、団体戦の勝敗

1部、2部いずれも1分1Rとする。代表戦も同じ。

組手団体戦は、1試合でも多く勝者を出したチームを勝者とする。

例えば、Aチームが1勝2引分けならAチームを勝者とする。

エントリー選手の全試合を終えた結果、引き分けた場合、代表戦を1試合のみ行う。

代表戦が引分けた場合、選手全員の体重を計量し、その総重量が少しでも軽い方を勝者とする。

四、蹴武型団体戦試合ルール

1、試合ルール

蹴武型の個人戦ルールに準じる。申請書に記入した型の変更は認めない。

蹴武の型の動作に変更をしてはならない。
例えば、飛び蹴りのない型に飛び蹴りを加えてはならない。

蹴武型団体戦独自の創作意欲・練習意欲、芸術性を高めるため下記は認める。

- イ、メンバー毎の時間差の蹴り・突き・防御
- ロ、動作時の気合いを増やす
- ハ、メンバーの型動作の方向の不統一

ルール上、想定していないことが生じた場合、大会会長が裁定する。

2、蹴武の型団体戦の勝敗

上位1位～3位を決定し、上位3チームで決勝戦を行う。

次の基準で勝敗を決定する。

- イ、蹴武型の団体的蹴美性
- ロ、蹴武型の団体的蹴武性
- ハ、正確な動作順序
- ニ、蹴武型の団体戦独自の創造性および斬新性

【10】大会出場申込

2011（平成23）年7月22日迄（消印有効。締切厳守）

参加費用 1種目 ￥5000

例えば、一部組手のみ。一部組手団体戦のみ。

2種目 ￥7000

例えば、一部組手と一部型。一部組手と一部団体戦等

3種目 ￥8000

例えば、一部組手と一部型団体と一部団体組手等。

なお、1選手が四種目参加（例えば、一部組手、一部型、一部団体組手、一部団体型等）は、体力の消耗等による事故の危険性が高いので禁止する。

を下記郵便口座へ振込み、

振込みを証明する控え（コピー可）を参加申込書に添付し、下記まで郵送して下さい。

なお、個々人で申請した場合、1回戦から「同クラブ対決」となる場合があります。

1、参加費振込先

〔口座番号〕 00930-8-245518

〔名義〕 滋賀県テコンド-連盟

2、申込書送付先 *大会実行委員長へ直送

〒709-0802

岡山県赤磐郡山陽町桜ヶ丘西4-9-2 妹尾将吾 殿

【11】大会役員

大会会長 河 明生（県連会長）
実行委員長 妹尾将吾 審判部長 仮屋山敏志
審 判 妹尾将吾、仮屋山敏志、吉川真、岩下徹、井上鉄朗、生川遼一、都築晋一、
朝比奈浩一、飯塚 稔、坂口好生、佐藤裕樹、井上昌彦
司 会 稲熊 肇 賞状 藤原徳晃 試合進行 鈴木雅弘他 医務 岩下徹

【12】注意事項

- ・熱中症等に気を付けて下さい。水分を十分にとるよう心がけて下さい。
気分が悪い場合、試合は無理をしないで棄権して下さい。
- ・試合参加のためには、所属クラブ長の許可（申請書にサイン）が必要です。
- ・電話やFAX、試合申込み期限を超えた試合の申込みは受け付けません。
- ・所属クラブ長・責任者に試合参加の意志表示を伝えた場合、棄権しても参加費用は納めて下さい。
- ・理由の如何を問わず一度納入された参加費は返却しません。
- ・試合当日の参加費支払いは一切受け付けません。
- ・各種保険証の現物を持参して下さい。
骨折などの事故がおきた場合、最寄りの救急病院に運び治療を受けることとなりますので、
各支部は病院に付き添う「救急担当者」を予め決めて下さい、
- ・体育館・武道館では、「ゴミの持ち帰り運動」を実施しています。
各支部は「試合会場美化責任者」を決め、弁当やペットボトルなどのゴミを持ち帰ることを
義務づけます。また武道館内は禁煙です。
- ・ロッカールームや試合観覧席などでの盗難には十分注意してください。
武道館および大会主催者は一切責任を負いません。

【13】観覧

すべての観覧希望者を歓迎します（無料）。ただし、大会関係者の指示に従ってください。
ヤジなどの品位の欠ける観覧者は退場していただきます。
武道館の定める飲食禁止場所での飲食や喫煙、試合会場近隣での違法駐車は禁止します。

【14】廉価宿泊先

下記のホテルが彦根で最も廉価です。各自が直接予約して下さい。

ビジネスホテル芹川

彦根市河原町2-8-4（JR彦根駅徒歩13分） 0749-26-2750
無料駐車場完備。試合会場まで徒歩で15分強。車で5分弱。
彦根城まで徒歩10分弱。琵琶湖まで徒歩15分強。

1泊 約2700円（和室4人部屋利用宿泊費）

それ以外にも彦根市は観光都市のため試合会場近隣にホテルが多数あります。各自が直接行って下さい。

第2回J T A組手団体戦エントリー選手名簿

大会会長 河 明生殿

一、一部組手団体戦エントリー選手名簿

団体名

氏名	級位・段位	年齢	体重	身長
----	-------	----	----	----

先鋒

中堅

大将

補欠

二、二部組手団体戦エントリー選手名簿

団体名

氏名	級位・段位	年齢	体重	身長
----	-------	----	----	----

先鋒

中堅

大将

補欠

第2回J T A 蹴武型団体戦エントリー選手名簿

大会会長 河 明生殿

一、一部組手蹴武型団体戦エントリー選手名簿

団体名

氏名	級位・段位	年齢	体重	身長
----	-------	----	----	----

補欠

二、二部蹴武型団体戦エントリー選手名簿

団体名

氏名	級位・段位	年齢	体重	身長
----	-------	----	----	----

補欠